

科目名称	情報科学	学年学期	単位数	時間数
		1学年前期	1	30
担当教員	坂本 規孝	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

コンピュータを日常の道具として活用するために、情報リテラシー、情報倫理、情報表現について学ぶことにより、情報に関する基礎的な知識や技能を身につけ、情報化社会に対応する能力を養うことを目的とする。

【2】学習目標

1. 情報社会を生き抜くためのルールやマナー、セキュリティについて、基礎知識を身につける。
2. 情報化社会における看護に関する基礎知識を身につける。
3. 文書作成、表計算、プレゼンテーションなどのソフトウェアの基本操作ができるようになる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- ☐ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- ☒ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- ☐ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- ☒ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- ☐ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- ☒ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	ガイダンス、情報と情報社会①	講義
2	情報と情報社会②、文書の作成①	講義・演習
3	保健医療における情報①、文書の作成②	講義・演習
4	保健医療における情報②、情報の発表とコミュニケーション①	講義・演習
5	情報と倫理①、文書の作成③	講義・演習
6	情報と倫理②、質問紙調査①	講義・演習
7	質問紙調査②	演習
8	第1～7回の振り返り、質問紙調査③	講義・演習
9	データ分析①	講義・演習
10	データ分析②	講義・演習
11	情報の発表とコミュニケーション②	講義・演習
12	質問紙調査④	演習
13	質問紙調査⑤	演習
14	情報と情報社会	講義
15	まとめ、筆記試験	

【5】評価方法

1. 質問紙の作成(Word 使用) (15%)
2. 質問紙調査の結果を分析してまとめた発表資料(PowerPoint で作成したスライド) (15%)
3. 質問紙調査の結果を分析してまとめた発表資料(PowerPoint で作成したポスター) (15%)
4. 筆記試験 (55%)

【6】教科書

中山和弘:系統看護学講座 別巻 看護情報学(第3版)医学書院 2021

【7】参考書

授業内で適宜提示する。

【8】受講生へのメッセージ

現代社会では、授業や仕事などの様々な場面で ICT 技術(パソコン、タブレット、スマホを含む)を利用しています。この授業では、ICT 技術の知識や操作方法を身につけ、適切かつ効率的に情報処理を行う方法を学びます。ICT 技術の習熟度は個人によって大きく異なりますが、この授業では受講生全員が基本操作をできるようになることを目指します。